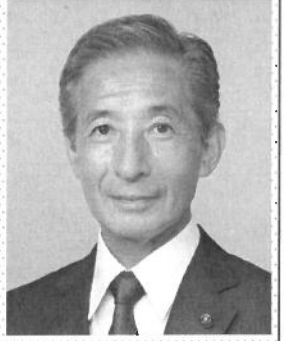


つ の い 基 議 会 報 告



第105号 発行者 角井 基 横須賀市佐野町4丁目14

E-mail motoi-ofc@jcom.home.ne.jp

福祉・子育てを重視した新年度予算

1月27日に臨時議会、2月14日から3月24日まで3月定例議会が開かれました。臨時議会や定例議会の前半では、感染症対策の補正予算などが審査、可決されました。定例議会後半の新年度予算の審査では、市役所の組織改正に伴う課題、4行政センターに配置している地域相談窓口の拡大、学童クラブ利用料を低減化するための補助金の拡充、猿島に整備中のトイレ整備事業費の増額などで多くの議論がありました。また、昨年からの検討されてきた「子どもの権利を守る条例」が議員提案により可決制定され、最終日には「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を可決しました。

市税収入は平年比で30億円の減

新年度予算案の一般会計は1574億円で、前年度より1.3%、20億円の減少です。市税収入は577億円で31億円の増ですが、コロナ前よりも30億円減っています。国からの地方交付税は179億円

の増であり、一般会計からの繰入も58億円となっています。要介護者は550人増えています。普通建設事業費は給食センターの完成で大きく減りましたが、中学校給食の開始で運営費に4億円が増えています。財政調整基金の取り崩しは前

中央こども園が4月に開園

市の職員厚生会館をリノベーションした「中央こども園」が

新たに作られました。

4月に開園しました。これにより老朽化した上町保育園と鶴が丘保育園は廃園となりました。

新たに作られました。また、従来の玄関は、他の子ども施設の入口となっており、こども園とは区切られています。

以前の駐車場がこども園の入り口で、土を盛った小さな山があり、子どもたちが遊べるようになっていきます。ただ、多くの保育園にある子どもが走り回れるような園庭は、3階に若干あるだけです。年齢別にフロアが分かれ、こども園専用の階段が

1階に病児・病後ケアセンター、4階にファミリーサポートセンター、5階に「愛らんど」と一時預かり保育室がおかれています。なお、リノベーションが新築

か、大きな議論となった総事業費は約7億4千万円となりました。このうち、3/4は防衛

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。

関係の国からの補助金です。



また、森崎保育園とハイランド保育園を統合してつくられる(仮称)南こども園は、新年度に調査・設計で4千万円余が計上されました。4年後に開園の予定です。

年同額の38億円、今年度末の残高は90億円となっています。年度末の市債残高は28億円の減少、全会計では45億円の減少で2870億円となっています。ごみ処理施設の建設を終え、市債の償還が始まったことによるものです。

EV公用車2台を休日カーシェアリング

新年度予算で重点施策とされているものから特徴的なものを挙げてみます。

▼生活保護世帯の高校生への学習支援、虐待で避難している大学生への経済的な支援を新設▼新市立病院の建設、うわまち病院の進入路拡幅へ用地取得▼企業や学生と地域活動をマッチングする「コミュニティアイコンダクター」の登録制度を創設▼消防団員の確保へ報酬など処遇改善▼公用車5台をEVに更新、2台を休日にカーシェアリング。

▼国より1年早く小学校4年生まで35人以下学級に▼学校と地域による「学校運営協議会」を設置▼図書館でICタグによるセルフ貸出・返却を導入。などです。

他に、新港・久里浜地区での港湾整備、中心市街地での再開発、ソレイユの丘リニューアルなど西地域の活性化、ティボディエ邸や浦賀地域などルートミュージアムの強化、大河ドラマを活用した衣笠地域へ

新年度予算の概要は

つ の い 基 ホーム ページ を ご 覧 ください

「つ の い」 で 練!



学童クラブ利用料の低減へ補助金を大幅に増額

の支援などが盛り込まれています。

学童クラブへの補助については、77団体に対して9億円の補助金が計上されました。本市では、学童クラブの利用料の高いことが課題ですが、それを引下げるために2億円余が増額されました。

事務の人員費として8千万円余、家賃補助を従来の7割から10割とし、限度額を25万円に引き上げ、送迎支援を新設し、合計で1億2千万円。

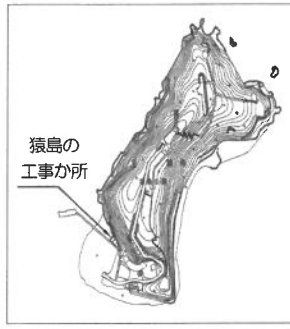
さらに、職員の処遇改善で1億1千万円が計上されています。増額は国の補助メニューを活用し、国、県、市がそれぞれ1/3ずつの負担割合となっています。

市では、これらによって、平均で4500円低減されるとしています。

猿島のトイレ増設で予算を追加

工事に関する事前の調整や連携不足を厳しく指摘

昨年の3月定例議会で、猿島にトイレを設置するため3億円が計上され、大きな議論となったのですが、結果的には2億3千万円弱で発注されました。そして、昨年から工事が始まっているのですが、今回、約5千万円を増額するなどの議案が提出されました。



海や崖に囲まれた狭小地での作業で、当初想定した以上に地盤が軟弱で、波の影響も大きく、十分な作業用を確保できなかった。そのため工程を見直し、コンクリートの打設回数や資機材の運搬回数が増えたため、などと説明されています。

審査をした都市整備常任委員会では、約4千万円を増額する契約変更に質疑が集中しました。既設トイレは7万人の入園を想定して作られましたが、近年は20万人が訪れており、トイレを棧橋付近に増設するものです。他に別途契約で1千万円余を要するとされています。

各議員の質疑を要約すると次のとおりです。

事前の調査、設計では、4年間かけて、トイレの利用状況の調査、規模や位置の検討、現地物の支持基盤を確認するもので、埋設物の存在は分からなかった。波や風が強く、棧橋が破損する可能性から資機材を運ぶ台船を直接には棧橋に着けられず、新たに別の台船が必要となった。

安全監視船は、当初は考えなかったが、発注後、海上保安庁への許可申請が必要と分かった。砂浜を迂回する仮設道路を追加するのは、波・風の影響が大

きく、作業ヤードが狭くなるため、過去の経験を活かすような職員間の調整が足りなかった。今回の工事は建築設計事務所に委託して行われたが、海上運搬について関係部局間の連携が不足していた。

今後の対策として、①高額の工事を行うことへの意識改革、②職員・部局間の情報共有・連携の強化、③事業者との役割・責任分担の明確化をしていく。

4月からは入園料が大幅に引き上げられて年1億円の増収が見込まれ、それを維持管理費や工事の償還に充て、8年間で回収できる見込み、などでした。

委員会では、工事に関しての調整や連携の不足が厳しく指摘され、市側はそれに対する弁明に終始しました。職員の技術力低下への懸念も出され、4月か

小規模校の将来的な検討へ

田浦・長浦・走水・馬堀の各小学校

教育委員会の予算についての審査では、教員の働き方改革、新たに設置される地域が参加しての学校運営協議会、閉園する諏訪幼稚園の跡につくられる外国人の児童生徒に日本語を教える支援教育ステーションなどで多くの質疑が交わされました。

また、教育環境整備計画についても質疑がありました。学校の小規模化や土砂災害の

レッドゾーン指定などから、将来的な学校の統廃合を検討するための地域別協議会の設置に向けたものです。

その中で、田浦小・長浦小のある地域、走水小・馬堀小のある地域については来年度から4年間で課題解決に向けた検討をされるとされています。

また、逸見小・沢山小・桜小・汐入小のある地域については、その後、4年間かけて

検討するスケジュールとなっています。

これらのうち、田浦・長浦・走水・逸見・沢山・汐入の各小学校は、いずれも全学年1クラスでクラス替えのできない小規模校です。

委員会では、地域と丁寧な検討を進める必要性や4年後からではなく早く議論を進めべきなどの意見が出され、教育長からは同時期にすべての地域で協議を進めることは難しいが、できる限り前倒し

できるようにしたいとの答弁がありました。

大雨への浸水対策で監視カメラやマンホールに水位計を設置

マンホールに水位計を設置

生活環境常任委員会では、上下水道局の審査で近年の大雨による浸水被害への対策について質疑がありました。

大雨への浸水対策としては、本町地区での排水施設の実施設計、下水道マンホール内への水位計の設置などで1億円余が計上されています。

マンホールの水位計は、コー

生活環境常任委員会では、市民部の審査では、地域生活相談の窓口をこれまでの4か所(田浦・浦賀・久里浜・西)に加え、衣笠・北下浦の2行政センターにも新設するのですが、これらをめぐって多くの質疑がありました。

好評の地域相談窓口を

久里浜行政センターにも

地域相談窓口では、センターによる差異はありますが、1センターあたり年間1000〜3000件の相談を受け、その内容は、道路、公園、福祉、ごみ関連、近隣トラブル、家庭問題など

らの組織変更による対応などを答えましたが、昨今の土木職の採用が困難になっていることも背景にはあるように思われます。

信により監視するもので、土の積みなど大雨時の初動体制を早い時期につくることができるとしています。

また、これとは別に危機管理課で越波や冠水、積雪、河川などを監視する定点カメラ約30基を設置する予算4千万円余が計上されました。画像は市ホームページやSNSで閲覧できるということであり、避難や対応策を早期に行えるようになります。

二十歳のつどいを開催

成人年齢が18歳に

こども育成部では新年度予算に「二十歳のつどい」の開催経費、353万円が計上されました。成人年齢が18歳に変更されることに伴い、移行時の成人式をどうするのか、話題に上っていました。その「成人式」に代わるものです。二十歳の区切りを祝うとは、いいアイデアです。

前年はコロナで延期となり、5月に芸術劇場で行って、今年も同じように芸術劇場で行われましたが、全員が着席しての式典で、この形式がいいと思えます。



二十歳のつどいの開催風景